

退職後の男性「家事に参加」

夫婦の暮らし方を調査

住環境研究所(東京都千代田区)は「定年後の夫婦2人の暮らし方調査」を発表し、女性は1人の時間を充実させているのに対して男性は家で家事をする時間が増加し、外出機会は減少していることなどをまとめた。



住環境研究所の調査結果を説明した西村正史氏

同レポートでは夫婦がそれぞれ自立しながら「ミックス」という住まいも、個を尊重し合う「シングル」の方を提案している。

「シングル(自立)」の調査 調査は今年7月に都市と夫婦が適度な距離感 部の55歳以上の男女12人で頻度やかける時間が流や接点を持ちたいという割合が高へ、男性は社

退職後の日常生活の変わって、女性は積極的な交流教育事業などを手がける業者向けセミナーFCエデュケーション・大阪・福岡の(東京都千代田区)は開催する。

「社会との接点」については、女性は積極的な交流教育事業などを手がける業者向けセミナーFCエデュケーション・大阪・福岡の(東京都千代田区)は開催する。

介護事業者向けの人材「低下」をテーマにしたセミナーが、業者向けセミナーFCエデュケーション・大阪・福岡の(東京都千代田区)は開催する。

人材育成セミナー開催 全国3都

全国3都

第16回 中国のナショナルリズム

上海では朝晩めっきり寒くなりました。上海の四季は、夏はコンクリートジャングルのような異常な蒸し暑さと冬は大陸特有の厳しい寒さ、一番過酷しやすい春秋はほとんど感じられないほどあっと言う間に過ぎ去ります。

このような光景ばかりではないのですが、上海万博時には世界にアピールしたい政府が主導でテレビや地下鉄車内、あらゆる所でマナー啓蒙活動が行われ、今後は元

日本と上海を往復している日本のおもてなしのサービス、マナーはやはり世界のでもずば抜けていることを強く感じます。

上海は相変わらず地下鉄で我先に乗る人、降りる人が譲り合いをせずに出る時間が遅れる、レストランの店員はテーブルに両手

おもてなしサービスが海外攻略に

これも中国 政府の上海万博啓蒙活動と同様に無関心の層に擦り込みをしているのです。日本はこれにむきにならずにナショナルリズムを煽らず、冷静に国益を守る対応が必要で、筋を通した対応で相手の揺さぶりに乗らないことが大切です。

自動車、テレビなど今までの支えた日本ブランドが韓国、台湾に圧倒され通じなくなった今、日本のサービス産業を海外に輸出する事が経済再生のひとつのキーワードのように感じます。

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長 松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポートシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

西国諸問題は多くありますが必ず日中の福祉産業で手を取り合わなければならない時は必ずやってくると思っています。特に福祉事業の人材が基本です。福祉サービスでは、中国人に比べ、日本の長年培われてきた問題点に、日本がまた元気を取す契機を福祉事業からせればと上海から願っています。